

令和7年7月栃木市教育委員会定例会会議録

令和7年7月栃木市教育委員会定例会を、令和7年7月25日栃木市役所に招集した。

1 本委員会の出席者は、次のとおり

青木 千津子教育長 後藤 正人職務代理者 五十嵐 幸男委員 西脇 はるみ委員
大塚 裕子委員 舘野 知美委員 岩崎 好宏委員

2 本委員会の欠席委員は、なし

3 本委員会に出席を求められた職員は、次のとおり

教 育 次 長	五 十 畑 肇
教 育 総 務 課 長	飯 島 彰
参事兼学校教育課長	堀 江 真 哉
学校教育課グローバル教育推進室長	宮 堀 純 也
学 校 施 設 課 長	國 府 泰 浩
保 健 給 食 課 長	寺 内 晴 子
生 涯 学 習 課 長	長 澤 紀 恵
文 化 課 長	横 倉 悟 史
美 術 ・ 文 学 館 課 長	高 久 一 典
教 育 総 務 課 主 幹	早 乙 女 豊
学 校 教 育 課 主 幹	篠 崎 智 延
学 校 教 育 課 副 主 幹	佐 藤 奈 央 子
教科書選定委員会委員長	島 田 芳 行

4 本委員会の署名委員は、次のとおり

西脇 はるみ委員

5 本委員会の書記は、次のとおり

教育総務課 赤川 優奈

6 本委員会の会議案件は、次のとおり

日程第1 会議録の承認

日程第2 教育長報告

日程第3 議事

議案第22号 令和8年度使用栃木市立小中学校教科用図書の採択について

議案第23号 令和7年度（令和6年度事業対象）教育委員会点検・評価報告書について

議案第24号 栃木市小中学校運営協議会委員の委嘱について

日程第4 その他

《会 議》

教 育 長 — 午前9時30分定例会の開会を宣し、出席委員、出席を求められた職員、署名委員、書記及び会議案件を報告する。 —

教 育 長 日程第1 会議録の承認についてでございます。6月定例教育委員会の会議録につきましては、あらかじめ委員の皆様へに配付したとおりでございます。ご質問ご意見等はございますでしょうか。

— なしの声 —

教 育 長 それでは、会議録への署名を五十嵐委員にお願いいたします。

教 育 長 次に、日程第2 教育長報告でございます。

— 7月栃木市定例校長会の資料に基づき説明 —

1 はじめに

2 6月の収穫より

(1) [共同訪問]を通して(国府北小学校 6/18)

～若手の占める割合が極めて高いことへの対応について～

(○職場に活気がある、△経験値が少ない)

・一足早い“学年担任制(?)”の導入

→5～6年前から、保護者に対し「1・2組担任2人で学年を見ていきます」と宣言

児童指導、保護者対応も常に二人三脚で

・教職員評価制度(行動基準表)を活用しキャリア段階や個に応じた目標設定への指導助言

～特色ある取組～

・“ICT活用・管理、GIGAスクール部会”を設置し、ICT活用について「これが本当に効果的なのか？」を議論し精査した上でブロックに下ろし実践

・一貫した「まごころ教育」の実践

(教育理念、教職員のまごころ、学級のまごころ、まごころ班…)

・一年生入学期に学校支援ボランティアを導入(4月は毎日)

～心に残った若手事務主事の言葉～

「先生の働き方改革は、先生が楽するためではなく子どもたちと向き合う時間を確保するためにある。に感銘を受け、今の自分にできることを実行しています。」

(2) [栃木市家庭教育講演会・栃木市PTA大学(6/21実施)]より

演題：不登校の人が一歩を踏み出すきっかけは？

講師：不登校ジャーナリスト 石井しこう氏

3 “フル回転の季節”から、“実りの秋”への橋渡しの時期にお願いしたいこと

(1) 1学期の学びから得た自信や意欲が2学期に繋がり、更に膨らむ夏休みに

※子どもたち一人ひとりが、その子ならではの「挑戦したいこと」をイメージし、主体的に取り組めるよう、事前の具体的な指導助言をお願いしたい。

また、長期休業中だからこそできる各校の実態に応じた創意ある職員研修を実施いただきたい。特に、各校の危機管理マニュアルをもとに、この時期ならではの留意の必要な事項について、全職員での共通理解はもとより、家庭、地域、関係機関との連携を密に図ること。

(2) 不登校等の未然防止に特段の配慮を

※運動会や修学旅行、校外学習等を通して、多くの子どもたちが生き生きと活動的に学校生活を送る中、その勢いに乗れない子どもの存在も気になるところ。是非とも、一人ひとりの小さな変化を見逃すことなく、きめ細やかな対応をお願い

いしたい。特に、夏季休業開けの不登校が懸念されることから、休業中の気になる子への働きかけに心を砕いていただきたい。

(3) 6月の下都賀地区教育長部会における所長挨拶より

※教職員の不祥事に関し、統計上この時期に多く発生する事案（6月：体罰、7月：交通事故）の未然防止に向けて、「服務規律の順守 思考ツール：マンダラ 64」を改定。是非とも各校で共通理解の上、必要に応じて個別の声かけや指導を徹底されたい。

4 おわりに（ちょっとひといき）

栃木市ゆかりの絵師、喜多川歌麿と田中一村のこと

教 育 長 私からの報告は以上でございます。ご質問等ございましたらお願いします。

— 質問なし —

教 育 長 次に、日程第3 議事に入ります。議案第22号 令和8年度使用栃木市立小中学校教科用図書の採択について、を議題といたします。本件につきましては、過日、選定委員会委員長より、令和8年度使用栃木市立小中学校特別支援学級用教科用図書の選定について、答申されております。まず、その内容について、選定委員長よりご報告していただきます。それでは、島田委員長、よろしく申し上げます。

選 定 委 員 長 〔説明要旨〕

令和8年度に使用する栃木市立小中学校特別支援学級用教科用図書の選定について、一覧のとおり選定した旨説明。

教 育 長 ただ今、ご報告がございました答申を踏まえまして、今回、議案を提出させていただきました。それでは、議案についての説明を、学校教育課 堀江課長にお願いします。

学校教育課長 〔説明要旨〕

令和8年度に使用する小中学校特別支援学級用教科用図書について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号の規定により採択を求める旨説明。

教 育 長 それでは、ご報告がございました、答申に基づき、審議し、採択をして参ります。なお、会議は原則として公開することになっておりますが、本件の審議後の議決部分については、栃木市教育委員会会議規則第16条ただし書に基づく、秘密会にすることについて、委員の皆さんにお諮りいたします。議決部分について、公開しないことに、賛成の委員は挙手をお願いします。

《全員挙手》

教 育 長 全員、「賛成」でありますので、議案第22号の採決に関する部分は、栃木市教育委員会会議規則第16条ただし書に基づく、秘密会といたします。

それでは、小学校及び中学校の特別支援学級用教科用図書について、審議してまいりたいと思います。答申書の別紙1が小学校の特別支援学級用教科用図書の一覧、別紙2が中学校の特別支援学級用教科用図書の一覧となります。選定委員会からの答申を踏まえまして、案として採択一覧表を提出させていただきましたが、これらの特別支援学級用教科用図書を採択することについて、何かご意見等ございましたらお願いいたします。

五十嵐委員 採択されなかった事由としまして、「供給未定」のためと書いてありますが、これらの教科書は内容云々ではなく、業者の都合によるものであると捉えてよろしいのでしょうか。

選 定 委 員 長 「供給不能」の場合は供給できないことを、「供給未定」と書いてあるものについては供給の予定がないことを意味しており、どちらも市場に出回らないということです。

教 育 長 採択しても、入手ができないということですね。

五十嵐委員	最初に教科書の候補が出てきたときに、供給に関する情報は分からないのでしょうか。
選定委員長	一覧に出ております、供給不能と供給未定の教科書は前年度まで使ってきた教科書であって、今年度も使えるかどうかを出版社に問い合わせたところ、それは供給不能ですといった返答がありましたので、このような表記になっております。
教 育 長	補足ですが、この一覧にある特別支援学級用の教科用図書ですが、全ての教科書がどこかの学校で使用されているわけではなく、この中から、一人ひとりのお子さんに適したものを教科ごとに1冊ずつ選ぶといったものです。この一覧に並んでいてもどこの学校にも採択されていない教科書もあります。
後 藤 委 員	私は答申書に書かれている内容については良いと思います。特別支援学級の先生に色々な所で教科書選定委員に関しての話を伺いました。先生方が共通して言っていることは、子どもたちの多様性への対応やカリキュラムの整合性と課題、教員の負担が増えていることでした。特別支援学級のお子さんは非常に様々な障がいを抱えていて、多様な児童生徒が在籍している状態です。その子どもたちに即した教科書を選ぶことは現実的に難しいということでした。先生方が個別にワークシートを作ったり、個別に指導計画を練ったりすることに非常に時間をかけているそうです。極論かもしれませんが、どの教科書を選ぶのかということよりも、その教科書のどの部分で多様な子どもたちの実態に合っているのかが大切ですし、またそれを補うときに先生方が個別の資料を作るのは大事なことです。が、厳しい状況下でもあると思います。お話を聞いていて、補助教材を作らなければならないという先生方の切実感と目の前の子どもたちにはその補助教材が必要不可欠であるという思いを感じました。特別支援学級の子どもたちのことを考えると、教科書だけで教えるということではできないという話を聞きました。これらの資料をみて、分量やバランスなども良く、非常に見やすい教科書ですが、それが子どもたちにヒットする場合もあればそうでない場合もあります。そういったことも含めつつ、答申書を拝見しまして、分量的にもバランス的にもいいのではないかと思います。
教 育 長	ありがとうございます。後藤委員さんから貴重なご意見が出ましたが、他の委員さんはいかがでしょう。
岩 崎 委 員	私も先日、初めて選定委員会を傍聴させていただきまして、委員長をはじめ様々な意見がありまして、いただいたものに関しては問題ないと思います。先ほど後藤委員がおっしゃっていましたが、現場の先生が実際にこの一覧の中から選ぶという作業が大変だろうなと思いました。その子に合った教科書をどのようにして選択していくのかということが、立派なものがあっても大量にある候補の中から本当に適したものを選んでいくことは非常に難しい作業だろうなということを一番に感じましたので、全て担任の先生の責任にすることなく、学校としてこういったものが良いのかというのをみんなで支えていけるようになって欲しいと思いました。
教 育 長	選定委員会を傍聴されていた委員さんもうらっしゃいますので、一言ずつご意見をいただいてもよろしいですか。
大 塚 委 員	新しいものを拝見して、本当に分かりやすく、自分の子どもにも使ってみたいと思うものばかりです。私たちの間で話題になったのは性の本で、すごく素晴らしい本だなと思いました。こうした内容を先生たちが子どもたちに教えることの難しさを感じましたし、先生によって伝え方も違うと思いますが、それを子どもたちに分かりやすく伝えることが、先生たちの力量にかかってくるのだと思うと、特別支援学級の先生に限らず、全ての先生たちに頭が下がる思いです。
舘 野 委 員	他の方と重複している部分もありますが、教科書はあくまでツールであって教科書だけで教えるものではないということがよく分かりましたし、先生方のご苦勞

を感じました。本当に大変だと思います。以前も教科書を見せていただいた中で、世の中のルールなどが、今の社会にあっているものなのかなと疑問に思うものがたくさんあったのですが、徐々に新しくなって行って、先生方もきっと現場で使いやすい本が増えているのかなと思います。今の時代にあった教科書がどんどん選ばれて行って、先生方も使いやすくなっていくことを願っています。

教 育 長 社会のニーズにあっている教科書を出版していただきたいですし、そういったものを選んでいただきたいということですね。では、概ね新しく選ばれた4冊については賛成ということでしょうか。

館 野 委 員 はい。

教 育 長 ありがとうございます。それでは最後に西脇委員さんいかがでしょうか。

西 脇 委 員 教科書を選定する時は毎回感心してしまうんですが、本当にお疲れ様です。新しいものだけ拝見させていただきましたが、保健体育の性のことに関しては、デリケートな問題ですが、必ず通らなければならない問題ですよね。内容を見てみると結構過激なこととか、私たちの時代とは全然違うので、こうした内容を教える先生の方のご苦勞も大変かなと一緒に見ていた委員と話していました。地図に関しては分かりやすく、日本のことを知るのにすごく良くて私たちが欲しいねと話していたので、教科書自体に関しては賛成です。

教 育 長 今、保健体育の性に関する部分で何人かの委員さんからご意見出ましたけれども、私も全部目を通していただいて思ったのは、やはり取り扱い方は大変かな、難しいのかなと思うんですが、「考えて話し合ってみよう」というコーナーとか、「こんな時はどうする？」といった、子どもたちに考えさせるような場面を設定しているところがあるんですね。扱い方によってはとても効果的な本なのかなと個人的には感じました。

それでは、令和8年度使用小学校及び中学校特別支援学級用教科用図書についての採決を行います。小学校と中学校それぞれに、一括して採決したいと思いますですが、いかがでしょうか。

— 異議なし —

《秘密会》

教 育 長 ありがとうございます。これをもちまして採択に関する採決を終了いたします。ここで暫時休憩いたします。再開は午前10時20分からといたします。

《10時10分休憩》

— 休憩 —

《10時20分より》

教 育 長 それでは、引き続き、議事を再開いたします。議案第23号 令和7年度（令和6年度事業対象）教育委員会点検・評価報告書について、を議題といたします。教育総務課 飯島課長より説明をお願いします。

教育総務課長 [説明要旨]

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況について、点検評価委員の意見を踏まえ、教育委員会において点検及び評価を実施した後、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することについて、議決を求める旨説明。

教 育 長 ただいま、事務局より説明がありましたように、これより教育委員会としての評価を、基本施策ごとに実施していききたいと思います。事務局でまとめた報告書(案)の点検評価委員の意見等を参考にしながら進めていききたいと思います。報告書(案) 3 ページ下段をご覧ください。教育委員会の評価につきましては、(5) 二次評価のとおり、S からD までの5 段階評価となります。S は計画以上のレベルに達している、A は順調、B は概ね順調、C はやや遅れている、D は遅れている、以上のとおりです。ここで、S からB の表現について、改めて共通理解を図らせていただきたいと思います。計画どおりに進んでいたらB、それよりややレベルが高ければA、大幅にレベルが高ければS というように捉えていただければと思います。C 及びD に関しては、ご覧のとおりです。

それでは、報告書(案) 11 ページ基本施策1 の『共生社会を形成する豊かな心の育成』について、教育委員会としての評価を実施いたします。なお、時間の限りもありますので、昨年同様、挙手またはこちらからの指名でご発言頂きます。その後、多数決を持ちまして教育委員会での評価とさせていただきます。では、本施策に対する評価やその理由等を、ご発言願います。

後 藤 委 員 一次評価でb ということで、内容を見ても過日の説明を聞いていても概ね達成していると思うので、私はB 評価で良いと思います。

教 育 長 後藤委員さんからB が適切ではないかという意見が出ましたが、他にいかがでしょうか。

舘 野 委 員 全体的に見て、私もB で賛成します。ただ、個別指導通級の事業に関してはまだまだ人が足りないというところと、通級ができる学校とそうでないところがありますので、今後に期待をしております。

教 育 長 通級教室があるところとないところがあって、そういう部分が残念だということですね。評価としてはB が適切ではないかということでした。他にいかがでしょうか。

大 塚 委 員 私はA に近いB だと思っていまして、他の委員さんがおっしゃったように4 つの学校で通級が行わっていますが、これから増えていけばいいという願いが私もありますし、点検評価の先生たちがおっしゃっていたように自分を出せる場所が増えてきていてとても良いと聞いたので、A に近いB だと思っています。

教 育 長 いい取組なので、願いを込めてA に近いB ということですね。他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長 それでは挙手による多数決を行います。S 評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A 評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 B 評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

教 育 長 全員「B」ですので、基本施策1 の『共生社会を形成する豊かな心の育成』についての評価は「B」といたします。次に、13 ページ基本施策2 『児童生徒指導

の充実』についての評価を行います。本施策に対する評価やその理由等について、ご発言願います。

館 野 委 員 不登校関係の事業がとて進んでいるなと思っています。全体的に見てA評価でお願いしたいと思っています。

教 育 長 本市の不登校対応を評価して下さっているということで、A評価で良いのではないかというご意見でした。他にいかがでしょうか。

館 野 委 員 ただ、スクールソーシャルワーカーの人数がまだまだ足りてなくて、一人当たりの負担が大きいのかなというところがあるので、もう少し増えたらいいなと思っています。

教 育 長 問題が複雑化・多様化しているということで、目標のパーセンテージに至らなかったのも、人数が不足しているからではないかということですね。スクールソーシャルワーカーの人数を増やしていただければというご意見でした。他にいかがでしょうか。

西 脇 委 員 私もA評価でいいと思います。8割以上の不登校の児童生徒が復帰できたということですが、ヤングケアラーの問題や、まだまだいじめに対しても難しいところがあるので、そこは気をつけていかなければならないと思います。

教 育 長 西脇委員さんはA評価で良いのではないかということですね。昨年度の復帰率85.2%に対して86.7%が復帰することができたという結果が出ています。復帰することがすべてではありませんが、復帰が増えたということも評価の一つのポイントになると思います。他にいかがでしょうか。

後 藤 委 員 本市の取り組みは非常にきめ細やかに行っておりますので、私もA評価で良いと思います。ただ、マンパワーの問題で、人不足はこの分野だけではなく、全体を通していえることだと思います。それから、子どもたちが抱える問題はまさに多様化していて、複雑化し、万能薬が無い状態です。そういった意味で現場の先生方大変さが伝わってきますが、栃木市としてはかなり詳しく丁寧に広報活動をしたり、指導をしているということを聞きますので、私はA評価で良いのではないかと思います。

教 育 長 マンパワーの問題がありますが、実施している内容についてはよく分かっているのではないかというご意見でした。それでは、それでは採決に入らせていただきます。S評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

教 育 長 全員「A」ですので、基本施策2の『児童生徒児童の充実』についての評価は「A」といたします。次に、17ページ基本施策3『確かな学力と健やかな体の育成』についての評価を行います。本施策に対するご意見ございましたらお願いします。一次評価を見ますと、学校給食が「a」評価となっていますのは、恐らくこれは食育を取り入れた授業の回数というところで、昨年度と比べて11.5%増加したという結果をもって評価されたものだと思いますが、何かありましたらご意見をお願いいたします。

岩 崎 委 員 推進指標からみるとA評価でいいと思いますし、給食事業を評価している委員さ

人のご意見等を踏まえると、A評価だと思います。ただ、やはり学力向上というものは永遠の課題でもあるのかなと思いますので、経年比較があったら良いのではないかと思います。過年度と比較していくという工夫は今後必要だと思いますが、令和9年度に向けての進捗としてはA評価だと思います。

教 育 長 学力向上について経年変化が見られるような具体的な資料があると良いのかなというご意見ですね。他にいかがでしょうか。

大 塚 委 員 この点検評価委員会の時は、こちらから質問ができなかったのので聞くことができなかったのですが、前回の教育委員会の際に、「とち介の学び」について堀江課長からお聞きした時に、数値が上がっていることを聞きまして、みんなで頑張っ
 て取り組んでいることが分かったので、私もA評価で良いと思います。

教 育 長 ありがとうございます。それでは、採決に移らせていただきます。S評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 6名挙手 —

教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 1名挙手 —

教 育 長 「A」が多いようですので、「A」を教育委員会の評価にしてもよろしいでしょうか。

— 異議なし —

教 育 長 それでは、基本施策3の『確かな学力と健やかな体の育成』についての評価は「A」といたします。次に、21ページ基本施策4『グローバル教育の推進』についての評価を行います。この施策は本市としては比較的新しい施策の一つですが、グローバルデー、グローバルアワー、グローバル教育プログラム実践研究などが具体的な内容となっております。一次評価は「b」となっております。いかがでしょうか。

岩 崎 委 員 何年か前にグローバルデーが岩舟の小学校で実施された時に一日がかりで行っているのを見て非常に良いなと思って、多くの小学校でその体験の日ができると良いなと感じましたので、拡大して行って欲しいです。ALTの先生方大変さもあるかと思いますが、みなさんが集まることでそこに交流が生まれることもあると思いますし、そういう意味では今後も拡大していただきたいなと思います。SDGsの考え方を子どもに伝えるというのも今後強化していただきたいなという期待の意味も込めてB評価だと思います。

西 脇 委 員 国際化になって、外に出て活躍して欲しいという思いがたくさんあります。宗教によっては牛肉はだめだということを知らない人も多いですし、そういった文化や風習など色々な国の勉強にもなるので、私はA評価に近いB評価だと思います。

教 育 長 期待を込めてAに近いBということですね。他にいかがでしょうか。

大 塚 委 員 コミュニケーションチャレンジで他校のALTと一対一で2分間話すということをしていて、子どもたちにとってはとてもいい経験だと思いました。栃木市全体でできたら良いなと思うので、Aに近いB、Aでもいいかなとは思いますが、Aに近いBかなと思います。今後も増やして行って欲しいと思います。

教 育 長 コミュニケーションチャレンジは全部の中学校で行われています。慣れているA
L Tだとどんな回答するのかが分かってしまうので、あえて普段話していないA
L Tと即座のやり取りをするということで担当が考えたものです。他にいかがで
しょうか。

— 意見なし —

教 育 長 それでは、採決に移らせていただきます。S評価だと思われる方挙手をお願いし
ます。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

教 育 長 全員「B」ですので、基本施策4の『グローバル教育の推進』についての評価は
「B」といたします。補足ですが、グローバル教育については、プログラムに基
づいた各校での実践というものは研究校が3校ありまして、その研究校が行った
取り組みを基に各校に広めていくという段階にあります。各学校が先進的にやっ
ているところを見習いながらやっているところがございますので、期待を込めて
B評価ということでよろしいでしょうか。

— 異議なし —

教 育 長 ありがとうございます。次に、23ページ基本施策5『ふるさとを生かした学習
の充実』についての評価を行います。重点事業はとちぎ未来アシストネットです。
一次評価は「a」となっています。本施策に対する評価やその理由等について、ご
発言願います。

後 藤 委 員 このとちぎ未来アシストネット事業は今から13年前の平成24年にスタートし
た施策で、栃木市の組織的な取り組みとして高い評価を得てきたわけですが、評
価をするにあたって、私としても期待度が高い事業ですから、毎年どうなってい
るかなと関心を示しています。しかし、13年の歳月が過ぎていても、地域の方
や教職員の中にも趣旨やねらいが浸透していないのではないかと感じるがあり
ます。そうした面を踏まえたと、限りなくA評価に近いB評価だと思います。

教 育 長 浸透の度合いという観点から、素晴らしい取り組みだけれども、A評価に近いB
評価というご意見でした。五十嵐委員はどのように評価しますか。

五十嵐委員 とちぎ未来アシストネットということで、私自身も地元の田村律之助顕彰会とい
うところに所属しておりまして、ここ4年ほど毎年、大平南小学校の6年生を対
象にふるさと学習として、全部で4時間ほど時間をいただいて、田村律之助さん
の学習を顕彰会のメンバーでしています。子どもたちが地域にこんな人が居るん
だと、地域の偉人について知るところから、地元に着や誇りを持ってくれたら
いいなという思いで活動しています。先ほど後藤委員がおっしゃったように、ふ
るさと学習をやるにしても先生方の理解がないとできない部分もあります。たま
たま大平南小学校では4年間続けて実施できていますが、校長先生方をはじめ先
生方の異動もありますので、今年の先生は興味を持ってやってくれているなと思
うところもあれば、そうでない先生もいますし、そこは難しいところがあります。

私が行っているのはその一校だけですが、他にも小平浪平や田中一村もいますので、後藤先生がおっしゃったように地域の人に入ってもらうことへの理解が進むような取り組みを私たちもしていきたいなと思います。

教 育 長 校長先生の姿勢が大きく響くということは私自身も校長をしていて感じました。ボランティアに入っていていただいている方に対して、快くありがとうございますという気持ちで管理職と一緒に汗を流していると他の先生方にも伝播しますので、校長会でも申し上げたいと思います。私が感じるのは、アシストネットは平成24年度にスタートしてはじめは地域格差が大きかった印象です。すごく進んでいる地域となかなか進まない地域で差が大きかったのですが、最近ではボランティア交流会を2月に行って、各学校やエリアのボランティアの方が入り混じって、こういう問題に対してこういう風に工夫しているなどの意見交換を行っています。お互いに良いところを共有しあって、全体的に均されてきて、レベルが上がってきたという実感があります。ボランティアの方々の固定化や高齢化の問題がありますが、保護者を学校支援ボランティアに取り込んで、少しでもいいから学校に来て子どもたちを支援して欲しいという学校が増えてきました。今ちょうど校長面談中なんですけど、ある校長が言っていたのは、学校に足を運んで、子どもたちの様子を見ることで、中には発達に問題があるお子さんとか、ちょっかいを出してしまうお子さんとかいろんな子がいますよね。そういうお子さんを見ながら例えば自分の子が家に帰ってきて、「〇〇さんにこうされちゃった」とお母さんに言い付けたとしても、「でもさ、〇〇さんはこういう気持ちだったんじゃないの」とアドバイスをすることができるんだと言っていたお母さんの話を聞いたそうので、学校の現場を保護者の方が知るということは実に大事なことで、そういう学校が増えてきていることはありがたいと思います。他にいかがでしょうか。

— 意見なし —

教 育 長 それでは採決に移らせていただきます。S評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 3名挙手 —

教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 4名挙手 —

教 育 長 「B」が多いようです。「B」を教育委員会の評価にしたいと思いますが、意義のある方はいらっしゃいますか。

— 異議なし —

教 育 長 それでは基本施策5の『ふるさとを生かした学習の充実』の教育委員会の評価は「B」といたします。次に25ページ基本施策6『生涯にわたる学びの環境の充実』についての評価を行います。重点事業は、とちぎ未来アシストネット事業及び図書館管理運営委託事業でございます。舘野委員さんは図書館について何かご意見ございますか。

舘 野 委 員 各図書館、色々な催し物を打ち出していてとても明るくて利用はしやすいと思います。活動もしやすくなっているので、その辺りを評価したいと思います。

教 育 長 西 脇 委 員	図書館ごとに工夫が見えるということですね。他にいかがでしょうか。 恥ずかしながら、最近図書館に行きはじめてんですが、梅雨や七夕の時期など季節によって入り口付近にカードが置いてありまして、自分の好きなことを書いて、笹の葉などに吊るしたりできて、子どもが行くとガシャポンをやってくれたりなど、とても気持ちよく利用させていただいています。必ず他にも人がいるので、誰もいないということはないですね。
教 育 長 岩 崎 委 員	工夫あるディスプレイや参加型のイベントなどがあるということですね。他にいかがでしょうか。 図書館をもっと利用していただきたいと個人的には思いながらも行けていないのですが、探している本を検索して他の図書館にあるものを持ってきたりできるので、もっと周知していくと良いのかなと思います。数値目標が非常に客観的で、ボランティアの数と利用者の数から見るとB評価だと思います。
教 育 長	数値から判断するとB評価ということですね。それでは採決に移らせていただきます。S評価だと思われる方挙手をお願いします。 — なし —
教 育 長	A評価だと思われる方挙手をお願いします。 — なし —
教 育 長	B評価だと思われる方挙手をお願いします。 — 全員挙手 —
教 育 長	全員「B」ですので、基本施策6の『生涯にわたる学びの環境の充実』についての評価は「B」といたします。次に、28ページ基本施策7『生涯にわたる学びの機会の充実』についての評価を行います。重点事業は、栃木市民大学事業や家庭教育学級開設事業、科学する心を育む推進事業でございます。本施策に対するご意見ございましたらお願いします。
館 野 委 員	様々な事業や取り組みに関してはとても良いと思います。例えば家庭教育学級に関しては、持ち時間が少なく、その短い時間に詰め込むことが難しい上に、学校側はその時間を捻出できないということで上手くいかないなと思うことがあります。そういったこともあるのでB評価だと思います。
教 育 長 館 野 委 員 教 育 長 大 塚 委 員	ジレンマがありますね。もう少し時間をかけてできればいいなということですね。 サイエンススクールはとても良いので今後も続けていただければと思います。 ただ今B評価という意見が出ましたが、他の方はいかがでしょうか。 点検評価委員さんがおっしゃっていたように、市民大学事業は何を目指しているかをもう少し具体的にしたいと思います。私も検索して調べてみましたが、もっと分かりやすくしてアピールした方が良いのかなと思います。人は一生学びが必要だと思うので、もっと分かりやすく示すといういろいろ学べるのかなと思いました。
教 育 長	分かりやすい広報に努めていただきたいということですね。他にいかがでしょうか。 — 意見なし —
教 育 長	それでは採決に移らせていただきます。基本施策7『生涯にわたる学びの機会の充実』についてS評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

教 育 長 全員「B」ですので、基本施策7の『生涯にわたる学びの環境機会の充実』についての評価は「B」といたします。次に、32ページ基本施策8『文化芸術活動の推進』についての評価を行います。重点事業は、美術館特別企画展等開催事業、文学館展示等開催事業、文化会館施設改修事業、栃木文化会館施設整備事業、一次評価はそれぞれ「b」となっております。

後 藤 委 員 この事業に限らずなんですが、一昨年の事業について点検評価しているわけで、法的に決められているわけですね。私が行政に関わる最初の機会が点検評価委員の座長でした。その時に感じたのは、一昨年度の第一次評価と第二次評価で出てきた意見がいっぱいあるわけですが、果たしてその意見が次年度あるいは年度途中で生かされているのかという部分が私としては不明な点がありました。評価をするということは、Plan-Do-Check-ActionのPDCAの中のPlan-do-checkまではできていても、Actionという新しい取り組みがすぐに取り組めるものもあれば、新しい年度にならなければ取り組めないといういろいろな面があるとは思っています。今年度もせっかく点検評価委員の方々が、貴重な意見を述べていましたので、注目すべきこともありますし、何を目的にこの事業をやっているのか、その目的が見えてこないという厳しいご意見もありました。それはある意味、我々としてはありがたいご意見だと思うので、ぜひとも点検評価で出てきた意見について、この意見については生かしたんだと私たちも言えるようになると良いなと思います。全部目を通しまして、私としてはB評価が妥当だと思います。個人的なことで申し訳ありませんが、ここで中座させていただきます。

《後藤委員 退席》

教 育 長 ありがとうございます。他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

館 野 委 員 文化祭の参加者に関しては右肩下がりになっているなというところで、何かしらの取り組みをしていかなければならないと思ったので、あまり評価はできませんが、美術館・文学館の入場者に関しては非常に目標値が高いので、どうしてもパーセンテージが低いかなとは思いますが、前年度を上回る数字ですし、評価したいと思っていて、全体的にまとめるとB評価かなと思います。

教 育 長 それでは採決に移らせていただきます。基本施策8『文化芸術活動の推進』についてS評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

教 育 長 全員「B」ですので、基本施策8の『文化芸術活動の推進』についての評価は「B」といたします。次に、37ページ基本施策9『歴史文化の保存及び活用』につい

館 野 委 員 教 育 長 館 野 委 員 教 育 長 西 脇 委 員	での評価を行います。重点事業は、ふるさとの城郭群再発見事業、文化財保存活用地域計画策定事業でございます。西方ということで館野委員さんいかがですか。これで西方が目とされると思います。皆さんの目に触れる機会も増えると思いますので、期待をしております。 評価としてはいかがですか。 これからだと思うのでB評価だと思います。 他にいかがですか。 西方と藤岡はお互いに離れているので、藤岡の方ではあまり話題になっていないなと思います。田村律之助のことも藤岡の方ではあまり知られていないので、もっと他地域の情報も入ってくれば良いのかなと思ひまして、私はB評価だと思います。
教 育 長	各地域の先人や遺跡についても、その地域だけではなく、全体に情報が行きわたるように工夫が必要ではないかということですね。それでは採決に移らせていただきます。基本施策9『歴史文化の保存及び活用』についてS評価だと思われる方挙手をお願いします。 — なし —
教 育 長	A評価だと思われる方挙手をお願いします。 — なし —
教 育 長	B評価だと思われる方挙手をお願いします。 — 全員挙手 —
教 育 長	全員「B」ですので、基本施策9の『歴史文化の保存及び活用』についての評価は「B」といたします。次に、40ページ基本施策10『学校・地域における教育環境の整備』についての評価を行います。重点事業は、とちぎ未来アシストネットやコミュニティ・スクール、小・中学校就学援助事業、学校現場における業務の適正化事業等でございます。一次評価を見ますと、コミュニティ・スクール関係と学校現場における業務の適正化事業については「a」になっておりまして、それ以外は「b」となっております。五十嵐委員さんには先日教育委員会日より「絆」にも部活動地域移行について記事を頂戴しましたけれども何か思っていられることはございますか。
五 十 嵐 委 員	すでに何校かモデル校としてスタートしていますが、それに関わっている人と話す機会がありまして、平日は先生方が居て、週末は地域の指導員が入っているわけですが、先生方と地域で教えてくださる方とのすり合わせが必要ですし、指導者が変わるときにそこで子どもたちが取り残されないように上手くやっていくことが一番の問題点であるとおっしゃっていました。そのスポーツに特化した先生だったらいいと思いますが、平日はスポーツに特化していない先生が見えて、土日は専門職の先生が見ているためにレベルが上がってしまって、先生たちへの見方が変わってしまうこともあると思います。人同士がやっているの、難しいところもありますが、先生方も普段頑張っているからそこが課題かなと思います。
教 育 長 五 十 嵐 委 員	先生方も自分が専門でやってきた部活動を持てない人の方が多いですよ。 その方が言っていたのは、学校と地域、家庭は大切ですが、地元の企業にも興味

を持っていたいて、子どもたちの育成にもっと入ってきて欲しいということです。企業が金銭的な支援を始め、様々な支援をしてくださると行政も助かるのかなと思うので、企業の人たちにも関心を持ってもらって、お互いに連携していけばできることが広がっていくのかなと思います。

教 育 長 官民連携ということですね。評価としては、いかがでしょうか。

五十嵐委員 全体的に見ると、伸びしろがあるのでAに近いBかなと思います。

教 育 長 ありがとうございます。岩崎委員さんは学校運営協議会で委員さんをやられていましたが、何かご意見ございますか。

岩 崎 委 員 教育環境の整備の中でもソフトの部分で地域全体の教育環境の水準を上げていくんだということで、冒頭の教育長の挨拶にもありましたが、地域に学校がなくなると非常に元気がなくなるので、どうやって関わっていくのか、お金を寄附するのか、知恵を出すのか、現場に行ってボランティアをするのかなど、できることをやっていくんだという意識の醸成があって初めて地域の中の学校であるということを経験の皆さんに伝えたいと思います。色々な事業をやっているの、それが一つ一つ花開いていくことを期待していますし、一つ一つの事業を見ていくと「a」や「b」があると思いますが、全体としてはB評価で良いと思います。

教 育 長 ありがとうございます。それでは採決に移らせていただきます。基本施策10『学校・地域における教育環境の整備』についてS評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

教 育 長 全員「B」ですので、基本施策10の『学校・地域における教育環境の整備』についての評価は「B」といたします。次に、49ページ基本施策11『教職員の資質・能力の向上』についての評価を行います。重点事業は、学校訪問指導事業と教育研究所運営事業でございます。一次評価はどちらも「b」となっております。学校訪問指導事業についてはその効果が何で表れているのか、何で見取るのか難しい面もありますが、教育委員会内の指導主事は足しげく学校に通って、頑張っている学校にあっていて、夕方に帰ってきてそれから事務作業をしている人もたくさんいます。教育委員会内の指導主事は学校訪問というカテゴリーの中では頑張っていると思います。その効果がどこにどのように表れるかというところははかりにくいところですが、頑張っています。研究所事業についても夕方からになりますが、来ている先生方は生き生きとしています。グループがいくつかあるんですが、それぞれ楽しそうにやっていると思います。他にご意見ございますか。

五十嵐委員 提案ですが、学校訪問するときに学校運営協議会の人たちも一緒に参加してくれた方がそこでいろいろな話もできるのかなと思いました。私も学校運営協議会を小学校と中学校でやらせていただきまして、正直、どこまで踏み込んで良いのかもわかりませんでしたし、常に学校に行っているわけではないので学校の状況が

手に取るように分かるわけでもなかったなので、学校運営協議会でどのように関わったら良いのか分からなかったこともありました。教育委員さんが学校訪問するときに、全員ではなくても、参加できる方だけでも一緒に行動するといいいのかなと思いました。

教 育 長
岩 崎 委 員

貴重なご意見ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

これだけ見るとA評価かなと思ったのですが、評価が難しくて、今は研修に参加できる職員を確保することが難しい中で、アンケートの評価は参加できた人の評価であって、そもそも研修への参加率がどの程度確保されているのかということも大切なことかなと感じました。参加した方の内容だけ見ると中身は非常に充実しているのだらうなと思いますが、では、多くの人が参加できているのかというところも興味があるものですから、次回から参加率の方も気にしていただけると良いのかなと思いました。

教 育 長

果たしてどれだけの先生方が参加しているのかというところですね。それでは採決に移らせていただきます。基本施策11『教職員の資質・能力の向上』についてS評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長

A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長

B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

教 育 長

全員「B」ですので、基本施策11の『教職員の資質・能力の向上』についての評価は「B」といたします。最後に、52ページ基本施策12『学校施設・設備の整備』についての評価を行います。重点事業は、小学校設備省エネ化推進事業、中学校校舎改修事業、大平西小学校校舎増築事業等でございます。一次評価は全て「b」となっております。

岩 崎 委 員

LEDの整備率を見るとC評価でもいいのかなと思います。予算がなくてはならない問題ですから、リース方式で終わった後に所有権が移るといったように工夫もされていますが、こうした部分を議会への報告の中で議員の皆さまにもご理解いただきまして、ハード面の環境整備について把握していただきたいので、私はC評価で良いのかなと思います。

教 育 長

C評価として議員の皆さんにも理解していただきたいということですね。他にいかがでしょうか。

大 塚 委 員

こうした工事のことは何年か先まで決まっていることですよね。私の子どもが通っている学校の音楽室でアスベストの問題があるんですけど、何か月前にアスベストを吸って亡くなった方がいるというニュースを見まして、その記事にはアスベストを吸った10年後とかに症状が出るとのことでした。子どもたちはそういう場所で歌ったり、動いたりしていて、今は出なくとも何年後かに症状が出るのは怖いなと思いました。それぞれの学校で、要望があるかと思いますが、私は害のあるものから先に工事すべきだと思っていて、子どもたちの未来がどうなっていくのかは私たちには分からないことですよね。例えばトイレも和式を洋式にしたいというもの分かりますが、それは身体に害があるものではないので、アス

ベストのように何年後かに害が出てくるものは親としては怖いと思うので、そういう学校を先に修繕して欲しいと願っています。保護者としては未来の子どもたちのことを考えると優先順位をつける必要があるのかなということで、私もC評価かなと思います。

教 育 長 健康被害を事前に防止するための設備を優先的に整備していただきたいということですね。他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長 それでは採決に移らせていただきます。基本施策12『学校施設・設備の整備』についてS評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 1名挙手 —

教 育 長 C評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 5名挙手 —

教 育 長 「C」が多いようですので、「C」を教育委員会の評価にしたいと思いますが、異議のある方はいらっしゃいますか。

— 異議なし —

教 育 長 それでは、基本施策12『学校施設・設備の整備』についての評価は「C」といたします。以上で、基本施策ごとの評価を終了いたします。基本施策1の評価は「B」、基本施策2の評価は「A」、基本施策3の評価は「A」、基本施策4の評価は「B」、基本施策5の評価は「B」、基本施策6の評価は「B」、基本施策7の評価は「B」、基本施策8の評価は「B」、基本施策9の評価は「B」、基本施策10の評価は「B」、基本施策11の評価は「B」、基本施策12の評価は「C」となりました。以上で、基本施策ごとの評価が終了しましたがけれども、全体を通してご意見等ございましたらお願いします。

— 質問なし —

教 育 長 それでは、議案第23号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なし —

教 育 長 異議なきものと認め、議案第23号について、可決いたします。続きまして、議案第24号 栃木市立小中学校運営協議会委員の委嘱について、を議題といたします。教育総務課 飯島課長より、説明願います。

教育総務課長 [説明要旨]

栃木市立小中学校運営協議会規則第9条第2項及び第10条第2項の規定に基づき、栃木市小中学校運営協議会委員を委嘱することについて、議決を求める旨説明。

教 育 長 議案第24号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

— 質問なし —

教 育 長 それでは、議案第24号について、原案のとおり決定することとしてよろしいで

しょうか。

— 異議なし —

教 育 長

異議なきものと認め、議案第24号について、可決いたします。

次に、日程第4 その他 に入ります。令和7年度教育振興大会について、教育総務課 飯島課長より連絡がございます。

教育総務課長

— 令和7年度 栃木市教育振興大会について説明 —

教 育 長

続いて、教育委員会だより「絆」の原稿確認及び学校訪問の日程について、教育総務課 早乙女主幹より、連絡がございます。

教育総務課主幹

— 教育委員会だより「絆」の原稿確認及び学校訪問の日程について説明 —

教 育 長

他に事務局から連絡はございますか。

グローバル教育推進室長

— とち介の学び～ゴールを見すえた授業づくり～に基づいて説明 —

私の方からとち介の学びについて説明をさせていただきます。栃木市の教育計画や点検評価など様々なところでとち介の学びが出てきますが、まずはとち介の学びが作られた経緯についてご説明いたします。平成20年代後半から全国学力テストの平均点がニュースで頻繁に取り上げられている時期でした。例えば、石川県や秋田県は学力が高く、反対に大阪や沖縄は学力が低いといったように取り上げられていました。その時栃木県はというと、全国でも下位グループにあり、県教委の方も学力向上に力を入れようとしていまして、学力向上推進室というものを立ち上げて、学力向上に動き出した時期でもありました。本市としても県平均を若干下回る教科や学年が多く、学力向上が課題となっておりました。平成29年には栃木県の算数が全国で最下位を取ってしまい、新聞で大きく取り上げられてしまいましたが、栃木市においてもほぼ同様の結果となっておりました。新聞の影響はかなり大きく、市長部局からも学力の高い市町には移住者も多いので何か手を打ってこないかという話がありました。当時の教育長からも何か手を打つべきではないかということで、指令がありまして、当時の課長と指導係長、係員3人でプロジェクトチームを作って、何か学力向上の手立てを打とうということが作成の経緯でございます。そのときのコンセプトについてですが、まず学力向上はテストの点数を1,2点上げるのではなくて教員の授業力向上を目指すものであるというものでした。これは全国上位であった石川県や秋田県も同様の政策を取っていました。例えば、秋田県には「あきたのそちから」というリーフレット等を作って、先生方にゴールを見すえた授業をしていこうというものがありましたので、そういったものを参考にしていこうということになりました。2つ目にとち介です。この頃、ゆるキャラグランプリに勢いがありまして、とち介も全国で4位になって子どもたちにも非常に身近な存在であったので、それを上手く活用できないかということがありました。3つ目に、教育長からの一番の指令は、捨てられないチラシを作れということでした。先生方に配って終わりではなく、先生方が授業をするときに教卓などに置いて、指針となるようにA4サイズ1枚でまとめるという指令がありました。作成にあたっては、ベテランにとっては今まで当たり前に授業をしてきたことの確認となり、若手にとっては授業づくりの基本となるような形でとち介の学びを考えていきました。では、とち介の学びの内容について簡単にご説明させていただきます。一番上のところに「ゴ

ールを見すえた授業づくり」とあります。授業づくりにおけるゴールは、この時間に子どもたちにどんな力を身につけさせたいかということだと捉えております。それを大前提としまして、その下に「まずは、本時のゴール（身につけさせたい力）を明確にしましょう」とあります。教員としてはこの45分、50分で子どもたちに何を身につけさせたいのかを必ず授業前に持ってくださいということをお大前提にしております。先生方が身につけさせたいことを子どもたちの姿で言うような姿であるか、授業が終わった後に、子どもたちがこんなことが分かった、できたというつぶやきを先生方には想定していただきます。そうした姿を想定した上で、「と・ち・す・け」になぞらえて授業づくりをしていくことをお願いしています。「と」は「とっても大事な「ねらい」の提示」となっております。授業を参観されますと、一番初めに今日のねらいと書かれるかと思いますが、その部分をただ先生が書くのではなくて、子どもたちと前の時間の振り返りを通して、興味関心を高め、子どもたちとやり取りを通して、子どもの言葉を使ってねらいを提示しましょう。また、いきなりねらいを提示するのではなく、授業の流れを考えて適切なタイミングでねらいを提示していきましょうというのが「と」です。次に「ち」と「す」については毎時間あるわけではなくて、単元の中で、基礎基本を徹底するときもあれば、培った基礎基本を使って応用するときもあります。「ち」に関しては、応用することを想定して作ったものです。「挑戦しよう！知識や技能を活用した問題解決的な学習」ということで、子どもたちが考えないとできないような問題を設定してみたり、周りの人と協力することで解決ができるような問題解決型の学習を授業の中に取り入れてくださいということです。「す」については、いわゆる言語活動、言葉にしていきたいと思いますということです。子どもたちが頭で考えているだけで終わってはいけなくて、それを言葉で説明したり、文字にしたりする際に、根拠を持って自分の考えを説明できるような学習活動を組み立てていきたいと思いますということです。お互いに伝えあうことによって、友達の良さや友達の考えの素晴らしさに気付くということで、協働的な学びを進めていけるような授業を組み立てていきたいと思います。「筋道立てて考えて自分の言葉で言語活動」となっています。最後の「け」は「決してはずせぬ「振り返り」」です。この時間で何が分かったのか、子どもたちがまさにできた分かったを実感できるような振り返りの場面を設定してください。例えば算数では類題を解いて、今日はこれができたということを子どもたちが実感できたり、社会のごみ問題であれば、ごみの減量という言葉を使ってノート3行でまとめを書いてみようというように振り返りを充実させましょうということです。このような授業の流れを日々重ねていくと、できたことや分かったことを積み重ねることで子どもたちが自信を持って学習でき、ひいてはそれが確かな学力の育成に繋がるのではないかとということでとち介の学びを作成いたしました。最後に成果と課題についてですが、平成29年度から、指導主事が要請訪問や各学校への学力向上巡回訪問として年1回、校長先生と学習指導主任の先生にその学校でどんな学力向上の取り組みをしているか聞き取りに行っているのですが、その際にも、とち介の学びをぜひ活用してくださいということをお願いし続けてきました。最近では、校長先生が学校のグランドデザインを考える、各学校の経営

方針の中にとち介の学びを入れてくださっている学校もありますし、授業改善のための学校課題の中にとち介の学びという言葉を使ってくさる学校も多くなってきました。また、私も実際にやっていますが、ラミネートをしていつも持ち歩いていたたり、教卓に貼っていたり、校長室に大きく掲示している学校もあり、徐々に浸透してきているのかなと思います。市の初任者研修では毎年指導主事からとち介の学びについて授業づくりの基本ということで伝えております。初めにお話したように、学力向上はテストの点数を1,2点上げることではなくて、授業力を上げることだと言いつけてきたので、ほかの学校よりも点数が1,2点低かったとしても学校の先生たちがそうしたことに踊らされずに、授業づくりを着実に進めていこうという意識づくりがされてきたと実感しています。また、県の指導主事研修会等でも栃木市としてはとち介の学びというものを市の特色としてやっているということを様々な場面で発信してきているため、他の市町からも参考にしたということが高評価をいただいております。これまで8年間やってきたわけですが、ここのところは子どもたちの成績は全国平均レベルで続いております。日本全体として見方が変わってきたのですが、2,3点上下するというのは1問できたかできないかの差です。全国的に-3から+3点の間に収まってきているので、全国の学力の標準化が進んできていますし、本市としても枠の中にしっかり入ってきているのかなと思います。また、小学校6年生で全国学力テストを受けた子が中学校3年生になってどのようになっているかを経年で見ることができます。この子たちを見ていくと、小学校6年生よりも中学校3年生の方が伸びているということがあります。小学校で学ぶベースをしっかり作った上で、中学校が受け継いでさらに子どもたちを伸ばしていこうということで小中一貫教育の一つの成果だと感じております。先ほどの点検評価でもありましたが、教員には異動があります。市町間での異動もありますので、とち介の学びを知らないという先生がいることも確かです。今後も、研修や訪問等でさらに活用を進めていきたいと思っていますところ。私からは以上です。

学校教育課長

資料を追加させていただきます。前回の定例教育委員会の時に、資料がない中でお答えした部分もありますので、全国学力テストととちぎっ子を分析したものを指導主事が作成して出した資料をお配りしております。これを授業改善に繋げていただければというところなんです、お配りした資料のマーカーを引いた部分が「と」と「け」に当たる部分で、ねらいの提示と振り返りを子どもたちのアンケートで調査する部分がありまして、経年変化を見たものになります。平成29年から見ていきますと、ねらいについては昨年度は最高値が出ています。振り返りについては10ポイント以上上がりまして、やはり昨年度一番いい結果が出ております。栃木市の中で定着しながら学力も上がっているのではないかと思います。

教 育 長
岩 崎 委 員
グローバル教育推進室長
教 育 長

ただ今の説明について何かご不明な点やご質問等ございますか。

「本時」という言い方は授業のことでしょうか。

本時というのはその時間の授業のことです。

他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長 ありがとうございます。続いて、いじめ防止フォーラムについて説明をお願いいたします。

学校教育課長 — 令和7年度あったかとしぎいじめ防止子どもフォーラムについて説明 —

教 育 長 ありがとうございます。以上で、本日の案件はすべて終了いたしました。
委員の皆様から何かございますか。

 — 質問なし —

教 育 長 これをもちまして本日の定例教育委員会を閉会といたします。

—— 午前11時39分委員会の閉会を宣言した。——

令和7年7月25日

教 育 長

署名委員